(明治十一年十月三十日第三種郵便物認可)　(日刊)日曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年八月廿四日(火曜日)　第百九十五號(一)

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●全南地方の稻作

木浦商業會議所の調査に係る全南の稻況を記さんに各地一般に降雨少なくして一時は龜裂稻苗枯死せんとするの慘狀なりしが七月中の驟雨により蘇生したり其各地植付の步合は靈光、咸平、潭陽、長興、順天、一〇〇、高敞、康津、長城、興陽、麗水、寶城、突山、珍島九〇、務安、綾州、同福、莞島八〇。海南、光陽七〇、羅州、光州昌平、靈岩六〇。南平五〇、谷城、求禮、四〇、智島二二。平均七六、五にして西海岸の咸平、靈光、茂長高敞方面は一般に良好にして海南より光陽に亙る南海岸之に亞ぐ[illegible]の米産地たる榮山江流域の靈岩、羅州、南平、光州方面最も不良なるが如くなるを以て今後幸にして天候適順なりとするも收穫に於て多大の減少を免れずと同時に貿易に及ぼす影響も亦大なるべし

●忠北地方の農況

忠淸北道地方に於ける稻作の狀況を聞くに東部に於て尤も良况を呈し西部地方は多少の不植地あるも其大部分は大豆蕎麥等を代播したるが八月十四日より十六日に亙り四十粍餘の降雨あり雨後の田畓を視るに莖葉は靑々として稻の早きは既に抽穗し晩きも孕穗中に在り代作物も已に二寸乃至七八寸に成長せるを以て向後經過適順なるに於ては敢て凶作を訴ふが如き虞なし云々

●地方事情調査機關

地方事情の調査研究が行政の爲め必要なるは素より言を竢たざるが韓國官廳に於ける這種の研究は從前頗る不完全にして邦人が政務に與るに至りたる後と雖も人情風俗を異にする爲め其調査未だ行屆かざる次第なるが内部地方局にては之が喫緊なるを認め三四萬圓位の豫算にて來年度より調査の機關を設けん意向ありといふ

●平南地方の水害

過日來の降雨の爲め平安南道の被れる水害は左の如し

溺死人二百七十九人、船舶流失二十四隻、溺畜七百四十三頭、家屋崩潰千二百九十七戸、浸水二千七百五戸、流失家九百八十八戸、水田損害面積六千五百六十八町、損害額二十九萬九千七百十圓

●咸北地方の水害

咸鏡北道の水害は去る二日より三日に亙り咸鏡北道諸川溝渠の水降雨の爲め增加しつゝありしが終に處々の河川の氾濫夥しく就中湖通川の如きは增水五六尺に及び湖通里より流域を變じて輸城面湖通里松嶼里及鶴中面農城里松湖里等の耕作地に浸水し今尙減水に至らず浸水區域約十五里に亙り幅員二百尺乃至七百尺に及べり農作物の損害耕地の荒廢勘からず

●木浦港の人口益增加

一度び南韓鐵道敷設の聲が傳はりて以來木浦に於ける商船尼ケ崎兩汽船の出入旅客を見るに出より入り多きは船便每に證明せらるゝ所なるが今ま同地警察署の調査に依れば同港の人口は此所二三ヶ月以來頓に激增せるものゝ如く目下居留地内に二千九百八十五人韓人町に百九十八人計三千百八十三人と云ふ多數に達したるが一面戸數も每月之れに伴ふて增加し居留地内八百九戸韓人町九十六戸計九百五戸に達したりと云ふ

●江原の天然痘猖獗

江原道洪川郡端石面淸凉里地方に客月二十日夜より急激なる天然痘發生し本月八日迄に三十余名を出し内十八名死亡現在患者十四五名の内數名瀕死の狀にあるが尙は蔓延の模樣あり同里には昨年九月にも赤痢流行多數の死亡者を出したるが今回は天然痘の爲め一家全滅したるもあり實に悲慘を極め居れり



第卅二席　桃川燕玉演

所が松平和泉守の内意、高家六角越前守傳法院の御旅宿へ參りまして、今大路民部少輔に對面をし 越「中山殿へ拜顏を致したい御取次を願ひます」今大路が「中山殿は遠路御下向の疲れ、何を申すも御老体の事ゆへ非常に御疲れ、寢所に御寢みであらつしやる寢所で宜しければ御取次を致す」越「決して差支はござりませぬ、是非御目に懸りたい」今「然らば暫時御控へなされ」と奧へ入りまして、稍々暫く經つて民部少輔出て參りまして「甚だ失禮だが前申す通り所勞で御寢みでござるから、寢所へ御案内を致す、御同道なさい」先へ立つて奧へ案内を致しまする、六角越前守今大路と共に中山殿の御居間へ參りまして、見ると大納言愛親卿、白綾の大廣袖の御寢衣、古金襴の平桁、緋縮緬の布團の上に横ざまに御寢みになつて居らつしやる、緋縮緬の大夜具を掛けまして、御小姓が二人中山殿の足を擦つて居ります。今大路民部少輔「申上げます、高家六角越前守御目通り願ひ奉ります」申上げた時に御小姓二人「恐れながら高家六角越前守殿御目通りを願ひまする由、御目を御覺まし遊ばされまするやう、御目覺め遊ばすやう」御起し申すと、中山殿がパツチリ御目を御開きになり、越前守を尻目に御覽遊ばし 中「オー越前、旅行の疲れ、慮外の段容赦致しくれまするやう、何か用事あつて參られたか」越前守も驚いた、無性な御方、切て床の上に起直つたらどう云ふもの、寢て居て御挨拶は少し甚いと思つたが、それを問はれまする場合でないから 越「扨此度は遠路の所御下向御苦勞至極に存じ奉りまする、押して御目通りを願ひ恐入り奉りましたが、此度老中松平和泉守内意にて參上仕りました、貴卿御登城の砌、別して御鄭寧に御取扱ひ仕り候間、貴卿關東役人へ對し、御鄭寧に御挨拶の程願ひ上げ奉りまする、此段申上げまする事で……」中山殿之れを御聽き遊ばし、からく〜と御笑ひなされ 中「オヽ左樣か、關東は至つて不鄭寧であるから、此段一同へ申し置いて呉れるやう」越前守呆れてしまつた「甚い御挨拶があつたもの、不鄭寧、頭からそんな事を言ふやうでは是れ喧嘩を買ふ、始末の惡い御公卿だ」と心中驚きましたが 越「併し關東役人は鄭重に御扱ひ致しまするゆゑ、何分其御含みを願ひまする」中「宜しく〜、其邊は心得たから安堵致して越前立歸つたが宜い、イヤ今日は意外の失禮、容赦を致しくれまするやうに」とゴロリ向ふの方へ寢返りをしてしまつた、越前守呆れ返つて、少しく立場を失ひました所へ、〇「申上げます 中「何ぢや 〇「岡山侯より諸白を獻じまする、持參致されました」越前守見ると、備前德利と云ふ奴、只今は餘り市中に見掛けませぬが、以前は能くございました、眞中が少し凹んで居りまして、ふつくりと、出來ました、ちよつと雅のございまする德利だ、臺の上に載せまして諸白が一升、外に種々結構な御進物を取揃へまして、是は備前の内殿樣が中山殿とは以前から御懇意でございますから、江戸着の御祝として種々の御進物を御遣しになつた之を聽いて中山殿ムク〜と起直つて「オヽ左樣か、コレ〜民部、岡山殿へ宜しく申しくれるやうに、扨々何よりの品を喜ばしき事ぢや」と傍の御短冊を取つてさらさらと御認めになつた 中「越前斯樣なものが出來た」と御出しになつた、越前守押戴いて拜見をすると『白河の水に遣れる酒よりも、多きが中に池田諸白』中「ごうぢや越前」越「ハヽ誠に御面白く承知致します」と口には言つたが腹の中で『白河の水に遣れる酒よりも多きが中に池田諸白』飽く迄も松平越中守に突掛つて、成程備前の岡山殿を大層能く思つて居らつしやる、して見ると岡山侯は中山殿の尻押をして居らつしやるか、何しろ始末の惡い御公卿が下つたむ、いゝ」とそこ〜に越前守は立歸つた、扨愈々初めての御登城と云ふ、御案内を致しまして六角越前守、有馬兵部大輔罷越しましたで、中山正親町の御兩卿御行列を立てまして、茲で傳法院を御立出になつた。と正親町殿は先立つて御城へ着いた、中山殿はちよつくり御出がない「どうなすつた、江戸慣れないから途中で迷兒になつたのか、一人や二人なら迷兒にもならうが、百人二百人もそんなに迷兒になる氣遣ひはない、何處を惑いて御出なさる、もう大概來さうなものだ」と御役人衆頬に氣を揉んで居りました、所が前に傳法院に乘込んだ時、本郷通りから上野廣小路、あれから山下へ出て坂本通りから金杉、三の輪、新町、小塚原、千住から綾瀬を渡つて向島の堤をグルリ廻つて來た、是が爲め中山殿も其通り道を大廻りに廻つて來た。



京城新報

軍人の名折れ

宇佐川總裁の虚言

花は櫻木人は武士、古來日本に於ては武人を以て國の精華として誇れり、從て武士は精廉公直ならざる可らずとなせり、若し武士にして清廉公直の德を缺ぐに於ては世人は唾棄して顧みず、武士自身も一旦此德を破れば罪を謝て自裁す、之れ武士に對する不文の律にして且其制裁なりき、近代に於ける我軍人も亦此美風を繼承して軍人たるものは最も公明廉潔ならざる可らずとなし其言行は世の儀表となる、之を以て余輩は常に我軍人に向て敬意を拂ふ、世界廣しと雖も我軍人の如く其心術の正直にして腦中唯元首と國家ありて其他を知らずと云ふが如きは稀也、一端緩急の場合には元首と國家の爲に其身を犠牲となすに躊躇せず、故に我軍人は國家の干城たると共に全く國民の精華なりとして誇るに足る也。

然るに茲に軍人の名折れとして論議せざる可らざる事あり、そは東拓總裁陸軍中將宇佐川一正氏の言行也、彼は僅に一葦帶水の馬關に於て極て虚構なる言辭を弄して自已の非を蔽はんとせり、虚構の言とは何事ぞ、彼は語て曰く、「今回は韓國銀行設立委員會と東洋拓殖會社の用向とを兼て歸朝せり會社は漁業に着手すべく平安道西海岸の漁場を調査し韓國政府の認可を受る運びなりたるが實行は來春を待て着手の豫定なり亦た金融部にては不動產に對して數十萬圓を貸付居れるが日本に於けるが如く貸付の要求に對して直に應ずる能はざる事情あり例へば一反歩二十圓の地價として二萬圓の地價あるものに貸附んとせば百町歩を抵當とせざる可らず然るに右百町歩に對し先づ十分に調査し土地の圖面を作り郡守の證明其他種々の手數と時間を要し少くも數ケ月の后ならざれば貸付を見るに至らず其調査費は借主より支拂ふべきものなれば金を借るに資金を要する杯事情頗る復雜せり故に今後韓國政府の土地調査事業の進行して日本の如く土地臺帳の作成されたる後に非ざれば金融機關も活動する能はず要するに將來韓人の購買力增加し暴徒全く平定して自由安全に旅行し得るに至らざれば遽かに生產事業の發達は望み難かるべし」云々、宇佐川陸軍中將の總裁たる東拓會社が目下如何なる事業に着手し、幾許の貸附金をなし、且つ如何なる狀態にあるやは東拓管理官及世人の普く知る所なり、然るに彼は空らく〲しくも斯の如くに大阪毎日及び大阪朝日の兩新聞記者に向て語れり、彼は會社が今日豫期の事業の運ばざるの故を以て世の不評判を招き居る爲に新聞を通じて之を隱蔽せんとして殊更に斯る虚構の言を弄せしならむ、若し夫れ之等虚構の言が彼の日糖會社の磯村秋山の徒によりて語られしならば余輩も亦深く咎めざるべしと雖も苟も現役陸軍中將たる宇佐川一正氏の口より語られたりとすれば、假令會社經營上の政略上と云ふも斷じて之を許容すること能はず、政府が宇佐川中將を總裁となしたる所以も必ずや軍人としての信用に依りて此大責任の地位を托したるものならむ、彼が之を引受けたるも必ずや此國家的事業を遂行して國家に盡さんとするが爲なりしならむ、然るに事實は全く相反して事業の進捗を見る能はざる爲に、世間の所謂山師重役の顰に習ふて虚構の言を以て自已の無能失敗を蔽はんとするに至りては餘りに其心事の陋劣なるを悲まざるを得ざる也。

嚮きには鹽屋中將が大日本水產會社の社長として甚だ見苦しき擧を敢てし帝國軍人の體面を穢せり、今や宇佐川中將亦鹽屋中將と同一徑路を辿りて軍人の名折れたらんとしつゝあり、余輩は眞に彼の爲に之を傍觀するに忍びず、彼をして此際現地位にあらしむるは會社の爲にも不利益にして彼の爲に不得策なるのみならず、軍人の名節に於て最も悲むべき事なりとす、其過誤の深きに達せざる今日に於て政府は宜しく彼を退かしむるを以て機宜の所置なりと信ずるもの也。

東京電報

▲製糖社長拘引　東亞製糖株式會社諸井社長栗原重役は社金三十六萬圓費消の廉に依り株主より告發せられ昨日家宅搜索書類押收の上拘引されたるが尚は連累者續々拘引さる可し(廿三日着)

▲淸人の邦人迫害　鴨綠江流木回收に際し日淸人間に衝突あり淸人群を爲して邦人を迫害したり(同上)

▲韓儲の東京歸着　韓太子には本日無事楓島より上野に着せられ奉迎盛んなり(同上)

▲吉長協約の批准　吉長線問題に關する協約二十一日批准交換を經たり(同上)

▲榊原少將の出發　新任憲兵隊長榊原少將は二十二日新橋發渡韓の途に就き文武官の見送盛んなりき(同上)

▲韓[illegible]創立委員會　本日……し松尾委員長は兩院議員の氏名を指定し定款の逐條審議を爲したり

▲一進會顧問推選　一進會幷議員韓……

大連電報

▲中村中將の旅程　聖旨を奉じて滿韓在留官民の狀況視察及慰問の爲め現に滿洲巡視中なる侍從武官長陸軍中將中村覺氏は二十三日大連出發安東縣へ渡航鳳凰城を視察二十七日朝新義州發同夜京城へ到着すべし(二十三日午後着)

地方電報

●虫害と民情不穩　咸鏡北道に於ける農作物の蟲害益々猖獗を極め民情不穩となり暴徒蜂起の兆あり(二十三日午前九時淸津發)

▲鴨綠江岸の不穩　鴨綠江沿岸に於ける木把の暴動甚しく民心恟々たり(二十三日午後一時義州發)

雜報

●東亞煙草工場計劃　吾が政府が滿韓に於ける外烟トラスト對抗策として東亞煙草株式會社に特許を與へ韓國京城及び淸國營口の二地に製造工場を經營せしむべしとの事は嘗て吾社の東電に接したるが愈々事實となり同社社長佐々熊太郞氏は製造に關する技師及び書記數名を引率し既に渡韓の途に就きたる由而して右計畫の內容は各土產の煙草を採用して嗜好に投せしむべく又當地に於ける工場は大韓醫院前元五十一聯隊營舍に內定せるも技師着京の上實地調查を遂げ然る後決定する筈なり尚は其規模は全韓國民の需要に應じ敵煙に對する必勝を豫期して計畫せるものなれば數千人の職工を使役する一大工場を設置するに至るべし然れども斯かる大事業は一朝一夕に成る能はざれば少くとも一年半餘の時日と慘憺たる經營の勞を要すべきが故に差向き職工千人位の程度より開始し徐々に目的の彼岸に達せる計畫なりと其他煙草銘の如きは官烟の銘を繼承すれば發展上頗る便利なるもこは政府の許可を受くるにあらざれば行ひ難きを以て社長渡韓の上實地の研究を經て利害の調查を爲し時宜によりては政府へ申請すべしと云ふ

●韓國貨幣整理の現況　隆熙三年一月一日より同六月三十日に至る韓國貨幣整理出納の情況は收入の部に於て資金受入高一百三十九萬四千○七十四圓四十一錢五厘第一銀行借越金二百八十五萬二千○十一圓三十五錢八厘假拂精算高二千五百圓○八錢合計四百二十四萬八千五百八十五圓八十五錢三厘にして拂出の分は各銀行補助貨貸付十四万○四百五十六圓五十五錢舊貨買上代金二百二十三万七千○九十八圓六十九錢四厘新貨製造代金五十四萬八千二百四十七圓十六錢諸經費十五萬九千○三十三圓四十四錢九厘新貨未發行在高百十六萬三千七百五十圓、合計四百二十四萬八千五百八十五圓八十五錢三厘なりと云ふ

●東拓會社の水利計畫　東拓會社が韓政府より交付を受くる四分の……

……經營を行はんと欲し目下事業部に於て計畫進行中なる由而して具体的成案は技師の調……

●各金庫の新貨在額高　本月上旬の調査に依れば左の如し

中央	三九三、九五圓	釜山	七六二、九七五圓
仁川	二、一八五、〇七五	馬山	一九、一〇〇
平壤	三〇三、五六五	咸興	一一、八二〇
鎭南	七一、〇一〇	羅州	二、三〇〇
群山	一六三、二〇〇	鏡城	七、八六五
木浦	三九、六三五	春川	二、一〇〇
大邱	二三五、七一〇	忠州	八、〇七五
開城	四〇、六〇〇	公州	七、九九〇
元山	一九一、四四〇	城州	三、〇九〇
晋州	九五〇	海州	九、三二五
水原	五、三一〇	計	四、二九七、〇六〇

●地方費の會計檢查方　國稅の支出方法に付ては會計法の規定に依りて常に檢査の行はれつゝあるは勿論なるが近々實施さるべき地方費の支出に付ては何等の監督機關存せざるに依り其筋にては會計檢査官をして國稅と同じく之れを檢査すべしとの內議ある由なれば早晚實行の運に至るならんと云ふ

●內部豫算編成の方針　內部の來年度豫算編成方針としては吏員の增加、官舍建築等の新費目を加ふるのみにて其以外には擴張するものなく地方費の事業としては屢々報じたる如く行通の完備、必須なる勸業、教育の補助等にして目下度支部と協議中なりと

●來年度豫算編成方針　韓國政府來年度豫算編成の方針は必要止むべからざるもの即ち吏員の增加官舍の建築等の外は概して之れを縮少し尨大なる編成を爲さゞる方針なりと

●豆滿江岸の輕便鐵道　豆滿江地方に於ける有志者は今般同河口西水羅より上流に向つて四哩の輕便鐵道布設の請願を爲したるに其筋より許可せらる

●押上兵器廠長の用向　兵器廠長押上少將來韓の用向は主として滿韓駐箚軍兵器檢閲の爲めにして一週間以內には來京の筈なるが龍山兵器廠にても檢閲準備の爲め多忙を極め居れりと

●慣習調查の終了　土地調查準備の爲め調查中なりし地方の慣習調查は略ぼ其の調査も終了に近きたるを以て習慣の種類を類別し之れを印刷に付する筈なりと

●新韓民報の押收　新韓民報第百四十三號は治安妨害の廉に依り昨二十三日其發賣頒布を禁止し且つ該新聞紙を押收されたり

●農事講習會開催　全南光州に於ては種苗場綿花栽培所農銀金融組合の技手等申合せ去一日より普通學校內に農事講習會を開く

●地方費と治道計畫　地方費は愈々來月一日より實施さるゝ筈なるが此が使途に關し內部當局者の談を聞くに各地道路の改築は政治經濟上より見て刻下の急務に屬するを以て茲兩三年間地方費は擧げて是を治道費に充つる方針に決定し居れり然し今年は實施後間もなく結氷期に入るを以て諸般の準備を爲し明春より工事に着手する筈なりと

●朝鮮日日舟遊會盛況　既報の如く同業朝鮮日日新聞社は一昨廿二日仁川沖に於て納涼舟遊會を催したり京仁間の各地より馳せ參じたる會員實に二百七十餘名一同午前十時仁川稅關前棧橋より六隻の圍平船に分乘し二隻の小蒸汽船に曳かれて靜々と外港に出づ曇り勝ちなる天候は炎署を避けて涼風は絕へず船內を襲ひ眞に納涼の名に反かず、二列の長き曳船は先づ月尾島外に碇泊せる致遠の水雷艇及び軍艦八重山を一周して其れより海上遠く八尾島に向ふ船中酒食の饗あり多數の藝妓は酒間を斡旋し歡聲海を壓す午後二時同島に着するや一同上陸して思ひ〲に散步を爲すあり遊泳を爲すあり約一時間を經て再び歸港の途に就き夕陽將に西海に沒せんとする頃港內なるオツプン島に上陸し立食の宴あり宴中今井同社主幹の挨拶あり石塚參與官は一同を代表して乾盃を爲し、劍舞其他の餘興あり各自歡を盡して歸路に就きしは午後七時過なりし、當日同社の設備は頗る周到にして會員は何れも滿足に見受けたり尚ほ重なる來會者は京城より石塚參與官、岡內部次官、小宮宮內府次官、井上宮內府書記官、中山統監府書記官、熊谷民長、池田會議所議員、戶叶大韓日報社長等外約百餘名龍山より同鐵道廳運輸課長印刷局技師五十餘名仁川よりは信夫理事官、岩崎民長、奥田民會議長、加來商業會議所會頭等右の外婦人連も多數あり總計二百七十餘名なりき

●一銀貨幣發行の周報

一、第一銀行券總發行平均高(自八月十五日至同月廿一日)		九、八五六、〇〇〇
內	二、正貨準備發行額	三、三一〇、〇〇〇
	保證準備發行額	六、五四六、〇〇〇
三、銀行券平均手許有高		七三九、八七一
四、銀行券市場平均流通高		九、一一六、一二九
四、硬貨發行額(八月二十一日現在)		四、四四五、四五〇
內	金貨二十圓	一、三五〇、〇〇〇
	同十圓	五〇、〇〇〇
	銀貨五十錢	六九二、二〇〇
	同廿錢	七八七、〇〇〇
	同十錢	五三三、五〇〇
	白銅貨五錢	七七一、七五〇
	青銅貨一錢	一四七、三八〇
	同五厘	六三、六二〇
	金貨五圓	五〇、〇〇〇

●全羅南道の稻作狀況　全羅南道南海岸一帶の各郡は他郡に比し多量の降雨ありし爲め挿秧も全部終了したるが中央部なる光州、羅州、其他附近二三郡に於ては最も甚しく旱魃の害を被りたる由にて非常の困難を極め居る農民尠なからず今後順雨加ふるに氣候溫熱を持續するにあらざれば平年の收穫を得ること困難なるべしと道書記官は內部に報告したり

●東拓本社の建築未定　東拓會社現在の家屋は頗る狹隘にして萬事に不便なるより疾くに建築の必要を認め地を龍山に選定せんとの內議ありし由なるが其後聞く處によれば京城及龍山に於ける市區發展の大勢は朝に夕を計るべからざるものあり故に必要を認むるも敢へて急を要せざる本社家屋建築の如きは當分現狀の儘にて執務し靜かに恰當なる地區を選定する事となり差向き立消の姿なる由

……以下將校三十余名は昨朝入京したるを以て統監府にては本日京城ホテルに一行を招待……

●仁川水道工事の速成　二百四十万圓の豫算にて工事中の仁川水道工事は意外に進捗し目下鷺梁津より仁川に至る鐵管敷設工事の如きも既に六工區中五工區竣功し殘工事としては配水池の一部及鷺梁津喞筒室の建築のみなり而して全工事完了期は來年十二月迄の豫定なりしも來年六月中には完了し遲くも七月初めには給水し得る見込なりと云ふ

●龍山邦人の人口增加　龍山市街の發展に伴ひ同人口は逐日增加しつゝあるが四十一年末以來の趨勢は如左

四十一年末	七、七五一人		
四十二年一月	七、五二一	二月	八、一四〇
同三月	八、二三〇	四月	八、六〇四
同六月	九、〇二六	七月	九、〇二九

尚は屆出を怠る者ある爲め實數は之より遙かに多かるべく戶數は一日一戶の割合を以て增加しつゝある狀況なり

●內國通運會社と貨物　昨今兩年に於ける內國通運會社京城支店の取扱ひし貨物數量は左の如し

		個	斤
四十一年中	到着	三五、五一九	四八、六四八、二六九
	發送	四七、四二[illegible]	三、一四〇、五二二
本年二月より七月迄	到着	二六、八四八	一三、二四九、八八五
	發送	四三、七四一	三、一四〇、五六一

●軍艦八重山仁川入港　軍艦八重山は吳港より鎭海灣を經て去る廿二日午前十一時仁川港に入港したり

●西島六師團長の歸龍　留守第六師團檢閲の爲め出張中なりし同師團長は今二十四日歸龍の筈なり

●麻浦道路切下げ　龍山民團に於ては桃山より麻浦に通ずる道路開鑿の計畫あり數日來內藤技師をして調査せしめ居りしが愈終了したるに就き其所管たる鐵道廳の許可あり次第工事に着手する筈なりと

●武官學生の渡日　韓國武官學生四十三名は我中央幼年學校に入學せしむる事に交涉纏まりたるを以て愈々一同は來月三日頃渡日の途に就く筈なりと因みに在學中の學費は度支部より支出する事に決定せりと

●親衞府の慰勞宴　元軍部引繼慰勞の爲め親衞府長官李秉武氏主催となり去る二十一日午後六時より京城ホテルに於て元軍部員及府員三十五名を招待し慰勞宴を開催す

●水產課長の移轉　農商工部水產課長庵原文一氏は和將臺統監府官舍(元參謀長官舍前頭本氏官舍跡)電話五〇二番へ移轉し

●警視廳舍の新築　警視廳々舍は朝鮮式家屋にて執務上の不便尠なからざるを以て洋式廳舍の新築を爲す事に決定したりと

●軍用米購買入札　龍山陸軍倉庫にては來月六日精米八百石を購買入札の筈なり

●天氣豫報（自廿三日午後六時至廿四日午後六時）　東の風晴れ

●瓦斯會社寄附金　日韓瓦斯より民團基金として龍山民團へ五百圓の寄附申込あり

●三浦理事官旅行　三浦當地理事官は本日出發し開城に向ふて旅行さるゝ由なり

●農務局長の歸任　釜山檢疫事務所の用を帶び出張中なりし中村局長は廿一日歸京

公人私人

▲松野孫次郞(春川判事)　二十二日出發
▲阪東榮次郞(忠北警察部長)　廿二日出發
▲桃島正義(東京府技師)　廿二日入京浦尾
▲堀田權三郞(海軍中佐)　廿二日入京巴城館
▲管野輔麿(海軍機關少尉)　同上
▲風間擧(海軍々醫)　同上
▲相馬淸二郞(海軍中尉)　同上
▲河村儀一郞(海軍中尉)　同上
▲藤原鈕次郞(海軍大尉)　同上
▲川崎鉎次郞(川崎造船所建築部長工學博士)は一昨日入京し天眞樓へ投宿せり
▲岩井尊文(東京帝國大學教授)　同三日月

近事片々

▲燈臺 基暗し大坂朝日の天華子の言に日く統監府の石塚は長官氣取りで甚だ威張と
▲彼は 他の參與官連中に頻に世話を燒きたがると果して斯る事あるか片々は初耳也
▲彼れ 石塚は倉富や梅博士の制定せる法律の字句迄に修正を加へんとするに至ると
▲故に 皆彼の獨よがりを冷笑すと左る事實ありとすれば片々亦彼を冷笑する外なし
▲世に 獨よがり獨天狗程見苦しく氣障なるものなし少しく往時を顧て反省せよかし
▲支那 通の根津一君曰く閩島の主權問題等はドーでもよし要は唯實利を占むれば可
▲先づ 理事廳を置けば夫で澤山支那には讓步に限る讓步々々と云へばチャンは喜ぶ
▲故に ドシ〱讓步してズン〱急所を握て實利を占むるに限ると彼は流石支那通
▲此間 の消息を霞ケ關邊に心得さしたい者然るに霞ケ關の讓步は全くの一歩をなす
▲長崎 ホームリンガーは釜山に一大競馬會社を起し日本の競馬屋連中を誘引せんと
▲浦鹽 の競馬さへ頗る好景氣なりと云へば釜山は必ず好況を呈すべしと彼是評判す
▲彼の 商會は今や韓國政府に向て其設立許可の請願中なりと中央新聞は記して居る
▲若し 之が許可せらるゝとすれば早く日本人にやらせる方がよかつたと或人は云ふ
▲曾禰 統監は果して之を容るゝや否や競馬熱を韓國に起させるも亦一時の景氣付か
▲毎日 電報は今や青木周藏の評論に進む青木は既に政治的生命盡きたりと捲り上る
▲然り 如何にエリサベツト夫人があせるも青木は到底首相は愚か公使にも六ツかし
▲米國 市俄古の富豪千金を以て猫を購ふと評判嘖々併し日本には千金以上の猫澤山
▲本場 は新橋の名古屋種を上品となす京城界にも時々野良猫に千金を費す馬鹿あり
▲蝸牛・蛙杯を賞味する巴里人は近頃日本の鰻の蒲燒を賞味するに至れりとは話せる
▲蛙の シツプや蝸牛の油揚よりは鰻の蒲燒は遙かに優る毛唐も段々と東洋趣味化す

●貴婦人の墮落（其五）

▲天下の大通曾禰統監
▲京城日報の不心得
▲破倫…破德…の奬勵

墮落して貴婦人の墮落と云ふ而かも未だ同だに貴婦人の墮落を描きたる直接記事の現はれざるは何故ぞの問を今や四方より本社に來る本社は是等の問に對し何と答ふべきか曰く貴婦人を墮落せしむるに

源因あり**筋道**あり曰く貴婦人とて女に相違なき事而して女は弱き者なり今や魔風吹荒み四圍の惡感化日々彼等に及ぶ弱き彼等が**權勢**の前に**誘惑**の前に頭を垂れ唯々諾々として[illegible]を遂ふるの行爲を敢てするに至りたるは理に於て大に[illegible]べしと雖も情に於ては少しく[illegible]事を無くばあらず仍て本紙は先以て四圍の狀況惡化の及ぶ所以を寫して前提を作り後段に至つて本文の記事を揭げんとす讀者幸に記者の意を諒して待ち玉はんことを

▲**伊藤公時代**の統監邸が大[illegible]前回に於て記述せるが如くにして[illegible]觀は極めて[illegible]醜態の[illegible]時には人をして顰蹙せしむる事なきにしもあらざりしが[illegible]出入する貴婦人を直ちに**中毒死**に至らしむる妖氣漂へる**那須の原**にあらざりしこと事實なり何となれば**殺生石**の前身**九尾の狐**は遂に茲に宿らざりし以てなり

▲**舊幕時代** 世は太平に太平を重ね弓は袋に太刀は鞘に時の將軍家は其大奧に[illegible]國主大名は[illegible]に浮身を窶す其頃ほひ上を見習ふ下町人迄[illegible]大通と稱し浮世の生命は粹事なりと[illegible]其間中に生れ出たるが清元なり

▲**清元家元** 其家元として世に現はれたるは何の頃か不明なれども[illegible]初代清元延壽太夫が富本より出で[illegible]一派[illegible]されど其濃たるや多くは極めて**卑猥**にして假令ば明烏夕霧の如き**廓の情事**を叙するを以て尋[illegible]とすれば[illegible]

●**新統監閣下**[illegible]疑ずると同時に[illegible]より疎んせら[illegible]の如き一種異な[illegible]を止むる迄なり子爵の君は難有[illegible]直ちに重き病に[illegible]憂ふ而れど醫師[illegible]以て何人も非を[illegible]**病源**はれや[illegible]るさんは先立て[illegible]**別居**を命せられた[illegible]りたり●其**本復**

●**不敬罪と延壽** 延壽太夫來る[illegible]來る彼が藝人風情[illegible]ずして來りたる[illegible]而りと雖も聞[illegible]身を以て統監邸に[illegible]に恐れ多くも瀆[illegible]

皇太子殿下御來京の折[illegible]公には之を[illegible]**皇太子御間**と稱して其**神聖**を[illegible]らさる無暗に立入[illegible]延壽及び其の一行は[illegible]**日夜起臥**[illegible]らずど嗚呼此事に**不敬や大**なりとて傳へ[illegible]が皇太子の御間を[illegible]**大岡**、**小**[illegible]忠のゝ由なり但し[illegible]を受けて斯くせし

●**元郵便局の窃盗**[illegible]局員[illegible]郵便局に忍入る[illegible]丁目三十三番地平[illegible]は明治三十八年渡[illegible]の雇となり居る內[illegible]か思はしき糊口の[illegible]はしき所も無きよ[illegible]十二年一月同所を[illegible]同地郵便局の臨時[illegible]局にては彼が身元を調査すべき本人の原籍地たる大坂に照會せしにさる人物なしとの回答に接したるに同局は身元不確實なる者を採用すべきに非ず直ちに解雇せられたれば別に貯わどても無き彼は忽ち其日の暮しにも困じ果て其處の雜貨屋此處の米屋と種々善からぬ手段を講じ物品を取り出し又奉職中の同避等を胡魔化し金錢を借りて僅に暮し居りしも何時迄も此の手に乘るものなきより遂に本月始め夜逃同樣にて同地を引拂ひ當地に舞ひ戾り西小門內韓人家屋に夫婦一家を擧へ妻は殊更に日本服を着せしめ居たるが又も糊口に窮し茲惡意を起こし本月十九日夜開城に至り同夜豫て勝手知れる同地郵便局に忍び入り金二百五十圓在中の行李を窃取翌朝歸京此の金を以て內地へ歸らんと本町に於て二人の衣類其他を買求め一兩日中に高飛ひせんとなし居るを西部署の郡守刑事探知して前記西小門內に潜伏中を取押へらる

●**油斷ならぬ雇人** 島根縣邇摩郡井田村大字大田平民當時住所不定椿谷義圓（二〇）と云ふは從來僧侶なりしも今の若さでれ經三昧抹香弄りは大國民の成すことならずと決心に固めたる膸嚙むとのありとは神ならぬ身の知る由緒もなく本年五月渡鮮して見たるものゝなるが商賣をすれば必ず儲けて見る心算だが資本がないので夫れも出來ず工業にでも手を出せば必ず成功するのだが同じく金がないので夫れも出來ず爲すこともなく徒食し居りしが本月廿日に至り龍山新草里農業吉田龜吉方に雇はれたるが翌廿一日主人龜吉と共に龍山元町三丁目の八百屋某方へ茄子千二百個を運びたるに當時八百屋の主人不在なりしより代金は後ほどの約束にて同道歸宅せしに午後六時頃不圖義圓の姿の見ねざるに心付きたるより若しやと思ひ見れば飛白單物一枚紛失しあるにぞ然らば先刻の茄子代金をも受取りの爲め立回るやも知れずと八百屋方に行きたる處案に違はす義圓は今しも茄子代金をた拂ひナスつて下さいと臺に額をナスり付けて請求しつゝある所なりしかば龜吉は有無を云はせず警察署に召連れ訴へ出たるが尙は余罪ある模樣なれば不取敢警察令第一條第三項により留置七日間に處し目下嚴重に取調べ中

●**電車に刎らる** 南大門通り二丁目魚商牛草善太郞方同居淵村豐治（十三）は再昨日午前九時頃家事を帶び旭町一丁目に行き歸途同町より電車線に差し掛る折しも突如西方より來る二十一號の電車と衝突して避くるの隙なく突き飛ばされ車輪にて後頭部足膝部足甲部同左腰部に各一ヶ所の微傷を負ひたるに附近の人々來合せ安東病院に擔ぎ込み臨急手當をなしたるに傷は何れも輕傷なれど腦振盪を起せし病め一週間の療病休業を要すと

●**果して泥棒だ** 去る二十一日午後七時頃當地竹園町邊を怪しき男徘徊せるを

●**大相撲の前景氣**
▲興行元の熱心な運動

大坂大相撲大木戶、岩友の一行は愈々來る**二十五日**より旭町民團役所裏手に於て興行する筈なるが今回の興行元は本町七丁目の**床梅**事曾根田梅吉にして同人は大阪に於ても有名な俠客なりしが今回の同地大火に非常なる同情を持ち、揚り高を**義捐金**として寄贈する筈なれば少しにても多額を揚げんものと義に勇む若者數十名を督し日夜運動に從事し居れるが多數の居留民諸氏も此義氣を讚し振つて來觀されん事を勸む尙ほ初日の取組みは左の如し

旅順口	（力熊	（佐の川	（響矢
天王山	袖の浦	松嵐	小染川
源氏山	（澤の鶴	（鶴ヶ濱	（鳴門岩
熊ヶ谷	鳳	玉の森	改心
西昇	（陣幕	（加古川	（天木戶
扇海	松の音	岩友	大林

●**手の長い水汲み** 永樂町一丁目一番戶圍碁師德本三五妻いしは本月二十一日正午頃自宅にて蒲鉾を買ひ之が代金を拂ひ一圓紙幣二枚十錢銀貨及五錢白銅各一枚を金入に入れ帶の間に挾み後金の必要生じたれば取り出さんとせしに先の金入れなきに驚き所々を搜せしも見當らずさりとて外出もせざれば蒲鉾を買ひし時庭に落したるに氣附かず其間に水汲みの韓人が來りしのみなれば必定此の者が隱匿せしならんと其筋へ願出しかば巡査出張同韓人を取調べしに果して此奴が所爲なりし事判明せり

●**キ印亂暴を働く** 旭町二丁目金子杉吉（四十）は豫て精神病に罹り居りしが去る二十一日同町佐藤旅館邸內に至り客室に石を投ずる杯亂暴を極め居る旨其筋へ屆け出でしより巡査出張せしに尙亂暴中なるより徐々之を制するも止まず遂に拘束引致せしが其妻より廣島病院に入院せしめたければと申出で引取らしめたりと

●**詐欺を種に詐欺** 三重縣桑名郡桑名町吉の丸三十一番地平民當時南大門通り土木請負業某方居住伊藤金次郞（三八）は本月始め南大門通太平洞七十五統十戶梁在嚇より或る事業を請負ひ十八日より着手すべしと百圓の手附けを取り十九日に至るも二十日二十一日に至るも着手せず梁は如何にしにやと段々取調べしに其の實伊藤は請負等をなし得る力ある者ならぬに始めて詐欺に罹りしものと知れ直に其筋へ訴へ出しかば其筋にては時を移さず巡査を派し取押しむ

長野刑事が取押へ取調べたるに愛媛縣溫泉郡新濱村千九百七十四番地平民黑田芳吉（二四）と云ふ者にして一定の住所職業無く七月廿六七日頃平壤より來り本月十九日靑坡居住武內某の縮緬兵兒帶一筋及銘仙絣單一枚價格二十六圓程の物品を窃取し之を龍山馬場質店に十圓にて入質せし旨自白せしも尙ほ餘罪ある見込みにて取調べ中

●**匪徒の討伐二件** 八月六日東大門外迎恩院東方一里の所にて憲兵及巡查共同にて十九の賊と衝突し其一を斃し銃一を捕獲せり又同日步兵第十三聯隊の兵五名は糧食運搬中同所西南一里の處に於て二十の賊に會し其一を斃したり

●**韓人賭博の取押** 南部藝洞居住李京八（三十）同上墨洞居住朴一斗（三十）の兩名は二十一日午後八時四十分頃永樂町一丁目三番戶大分縣人豆腐商大平四郞方にて金錢を賭して骨牌を弄び居りしを巡查に取押へらる

●**又しても只飮み** 一昨廿一日當地本町三丁目伊藤組帳場竹原一雄（三六）は明治町二丁目料理店三桝屋事林みや方に登樓して三圓二錢の遊興費を支拂はず其の筋へ突出されて說諭の末雇主が支拂ふ事となる

●**新町遊廓の新妓** 橫濱市神奈川町八十二番地龜吉姉田中なか（二十）は淸月よりお茶と名乘り大坂市南區日本橋筋東一丁目四千六百七十四番戶さわ妹田中そよ（二十）は京城樓より頓子と名乘り何れも昨晚より張店

●**盜難に罹かる** 旭町二丁目九十三番戶瀧政吉は去る二十日午后二時より四時迄の間に夏着洋服外六點約十九圓程の品を盜難に罹りし旨其筋へ屆け出づ

切子盆燈籠製造販賣

京城旭町一丁目歌舞伎座前
京城葬具社　電話九二三

京城　暘町
西村龜太郞

●**工兵の爆發演習** 工兵第一中隊は本日午前八時より十二時迄西氷庫附近漢江にて水中爆發演習を施行すると

●**職務の爲め病む** 南部署詰衛生係巡查部長鈴木銀藏氏は職務の爲め腸窒扶斯に感染し廿二日大韓病院に入院せりと



▲**歌舞伎座**　當地歌舞伎座に於ける彰義隊愛澤一座本日の替りは「僞忠義」十一場なりと
▲**仁川歌舞伎座**　朝鮮日日新聞仁川支社主催の大坂大火義捐金募集の慈善演劇は田宮貞雄一座にて愈々同夜より開催藝題は一番目「活殺自在」二番目大坂大火の活劇なりと

廣告

名種 洗濯石鹸 專門製造販賣 用途
陸軍、鐵道、船舶、鑛道、鑛山、水道湯屋、散髮、諸工業用
京城旭町二丁目 (電話九七三番)
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

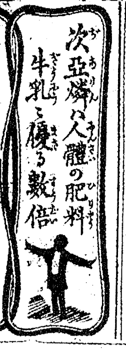
人事部

●英文代書 通譯應囑 本町一の七五中村
●被雇度 年廿九市内に確實保證人有韓語に通す不問職業被雇たし 氏名在社(四二三)
●韓語通譯 會社銀行又は商店を問はす韓語通譯に被雇たし 氏名在社(四二二)
●望家庭教師 某美術學校卒業生廿三歳市内相當の家に被雇たし 氏名在社(四一四)
●下女入用 年齢三十歳より四十歳迄にして身体壯健なる者至急入用但し月給八圓 氏名在社(四一七)
●實業行商人數名募集 希望者は本人直接來談あれ 明治町三の一五七 水田藥房
●被雇たし 年十八身体强健高等小學校卒業新聞又は牛乳配達に雇はれたし 旭町一の二八二 中村

物件部

●賣地 南大門より停車場に至る右側表通六十坪の賣地あり 氏名在社(四二〇)
●貸家 若草町一にて温突二間續一間疊敷二間押込炊事場玄關付にて井戸の設置あり家賃十二圓若草町一の一二九矢島(四一九)
本町七丁目通にて飲食店造作付のまゝ至急格安に讓渡したし 姓名在社(四二三)

廣告



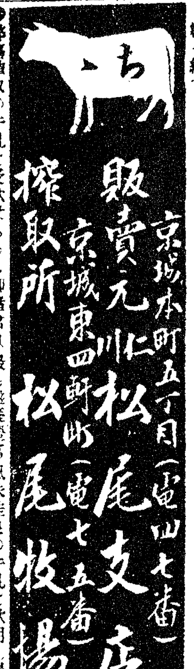
次亞燐は人體の肥料
牛乳に優る數倍

次亞燐は
世界無比の滋養新藥なり常に服用せば血を增し肉を肥し食物の消化を補け血色を能くし身体を强健ならしむ本劑は肺病肋膜胃病心臟神經脚氣たんせき其他貧血衰弱症に特効あり產前產後は勿論病後等の補血に缺くべからざる新藥にて暑中の牛乳代用に適し脚氣病を防ぎ夏瘦夏負等に良し
大壹圓五拾錢中九拾錢小五拾錢

滋養 次亞燐 大阪道修町 小西久兵衛 大關 發賣元

男女生徒募集
簿記學速成教授 規則書郵券二錢
但一人毎に敎授す何時入學するも差支なし
新式 官廳簿記學教科書 代五十錢
京城壽町二の三七統監邸下
京城簿記學校

◉開店廣告◉
殘暑之砌各位益々御清榮奉賀候扨今回左記へ開店仕御料理其他總て江戸子流に御手輕を旨とし開店披露の爲め大勉强仕候間御引立之程奉希候
京城本町六丁目西崎雜貨店横手
會席御料理 しのぶ



●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す牛乳搾取場に此に留意し好良の食料を給す
京城本町五丁目(電四四七番)
販賣元 川仁 松尾支店
京城東四軒町(電七五番)
搾取所 松尾牧場
●牛乳搾取の牛乳を受飲せらるゝ御諸君は最も滋養豊富風味佳良の牛乳を飲用し得らるべし

中元大賣出し

醬油特約一手販賣
本町五丁目
大上商店
電話二五一

品目
和洋酒、ビール、シャンピンサイダー、炭酸水素麵、最上鰹節、特撰奈良漬種々、赤白砂糖、宇治銘茶種々、鑵詰、乾物、其他食料雜貨種々

各種とも御進物用にして至極優美にしつらゐ候便利商品切手も調製仕候間多少に不拘御注文の程奉希上候
尙御注文次第遠近を問はず迅速持參可致候

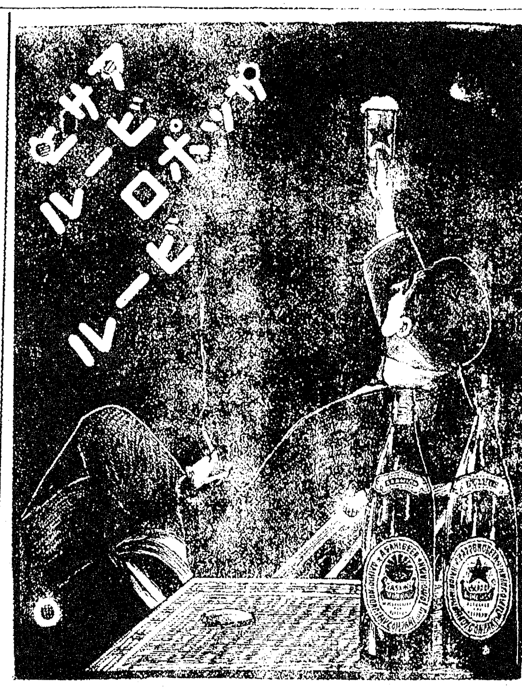
荒物世帶道具一切
大阪 製白絞油和洋蠟燭
和傘岐阜提灯魚釣道具
卸小賣
地方在住の各位には御申越あり次第代金引替證付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候尙弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候

荒物世帶道具
各國諸油米穀
銘酒澤龜 アサヒ サッポロ 麥酒
並に買次業
京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話長二一〇番略(二カ又は二)
振替貯金口座東京(九四一七番)

たやすくうります
綿わた綿ワタ
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋反物類
京城明治町一丁目四ツ角
卸問屋 唐川商店
電話二六一番

營業科目
活版、石版、銅版
各種印刷
帳簿裝釘、書籍
製本及ビ印刷
諸材料販賣

日韓印刷株式會社
遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候
本社 京城明治町三丁目 電話三二三番
出張所 東京麴町區麴町八丁目十九番地 電話番町二九〇番



明治廿年七月創立
東京火災運送海上保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四丁目 山口吳服店 電話九番
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番



京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島專藏
(電話四百十三番)

胃腸消化新劑
澱粉消化 ヂヤスタリン
蛋白脂肪消化 ヂゲスチン
錠劑十瓦分(三十粒入一瓶)二十錢
散劑一オンス入(一瓶)一圓二十錢
錠劑十日分(三十瓶入一瓶)三十錢
散錠一オンス入(一瓶)二圓四十錢
右は最近内地に於て急激の需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絕品にして所謂賣藥には無之候
各地有名なる藥店に於て販賣す
●大韓醫院御用藥
韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏

新荷着中元賣出し
來る三十一日まで
東京

五百足限一圓十五錢 均一圓
利益なし元價の
一張 二十五錢

本店東京 京城大和町一丁目日の出橋際
電話二〇五番
藤井出張店

移轉御披露
京城旭町三丁目十六番戶(三日月湯下隣)
東京生そば
東京庵
電話九五五番

暑中御見舞
清水席
松一 笑政 玉太 葉奴 郎彌 吉
御華客各位

電話開通
九〇六番
京城壽町三丁目
清水席

待合貸席
月の家
本町五丁目三八
電話一〇七四

入院隨意
松岡醫院
南山町二丁目
電話六七五番
各科診療

●消閑之清遊●
毎日午後開會諸君子陸續御臨を賜へ
京城明治町一丁目
京城碁會
(大和湯前〇万隣)
●市中之仙境●

馬車配達
●滋養と牛乳●
純良 牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹〇六九番
●衛生と消毒●

日本郵船株式會社
仁川 瀛船出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 電話三九番
郡回漕店
電話十番
●釜山長崎門司神戶行
山東丸 八月二十九日午後三時出
●大連、太沽、牛莊行
高砂丸 九月九日正午時出
●大連、大沽、牛莊行
山東丸 月日午前四時出
●大連、大沽、牛莊行
酒田丸 八月廿六日正午
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行
立神丸 月日午後出
御注意
御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲一ヶ年前金貳圓...
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢▲四號活字十九字詰一行金六十錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久神一郎
發行所 京城新報社
京城西小門通
電話六三番